

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(PID)	出典	概要
724	2007/11/09	70724	ジェンザイ ム・ジャバ ン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺 細胞ウマ免 疫グロブリン	ウマ血漿	フランス	有効成分	無	無	無			
725	2007/11/09	70725	ジェンザイ ム・ジャバ ン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	赤血球スト ローマ	ヒト血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
726	2007/11/09	70726	東和薬品	ウリナスタチンの注射液	ウリナスタチ ン	ヒト尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	リケッチア症	Jon J Infect Dis 2007; 60: 241-243	血清学的、微生物学的に確定された日本紅斑熱の初め ての死亡症例を報告する。滋路島在住の77歳男性で、 2005年9月2日に食欲低下を呈し、翌日、下腿に皮疹が出現、 現、4日目に38.7℃の高熱、歩行障害、構音障害が出現、 肝機能障害が急速に進行し、DIC、消化管出血により8日 目に死亡した。右胃にダニ刺し口があった。血液よりDNA を抽出し、PCRを実施したところ、塩基配列はR. japonica と100%一致した。日本紅斑熱は増加傾向にあり、注意が 必要である。
727	2007/11/09	70727	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチ ン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	J Med Virol 2007; 79: 393-400	コンゴ民主共和国において2000-2001年に急性弛緩性麻 痺の小児138名から分離された186株についてタイプング を行った。89名の患者からの分離株は非ポリオ性エンテ ロウイルス型で、17名の患者は1つ以上のエンテロウイルス またはアデノウイルスに感染していた。また、非典型的 なエンテロウイルス分離株が高頻度にみられた。6名の患 者からの分離株には新規のエンテロウイルス型が含ま れ、HEV-Bに属するEV-93およびHEV-Dに属するEV-94 と名づけられた。
728	2007/11/12	70728	あすか製 薬	精製下垂体性腺刺激ホルモン	下垂体性性 腺刺激ホル モン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエン ザ	CDC Emerg Infect Dis 13(9) 2007年9 月	インドネシア北スマトラおよびトルコ東部の家族群で観察 された高病原性トリインフルエンザAサブタイプH5N1感染 が、ヒトヒト伝播によるものであるかを調べるため統計的 方法を用いた。感染の2次的発病率(SAR)および局所的 基本再生産数(R0)を見積もった。スマトラの例については ヒトヒト伝播の統計的エビデンスが得られたが (p=0.009)、トルコについては統計的エビデンスは得られな かった(p=0.114)。
729	2007/11/12	70729	あすか製 薬	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性 腺刺激ホル モン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエン ザ	CDC Emerg Infect Dis 13(9) 2007年9 月	70728に同じ